

国有林の森林総合監理士（フォレスター）等による 民有林支援の取組

東北森林管理局
秋田森林管理署

雄物川流域 フォレスターチーム による支援活動



平成23年4月の森林法改正により、地域の森林の「マスタープラン」である市町村森林整備計画の作成及び実施における市町村の役割が一層重要になったことを受け、秋田県と東北森林管理局は、民有林と国有林の森林総合監理士（フォレスター）等が相互に連携し、市町村等を技術面から支援するため、平成25年7月に「秋田県フォレスター協議会」を設置しました。

協議会では、秋田県内の3つの流域ごとにフォレスターチームを編成して、市町村森林整備計画の作成等に向けた具体的な支援活動に取り組むこととし、秋田森林管理署では雄物川流域フォレスターチームとして取組に参画しています。【図1】

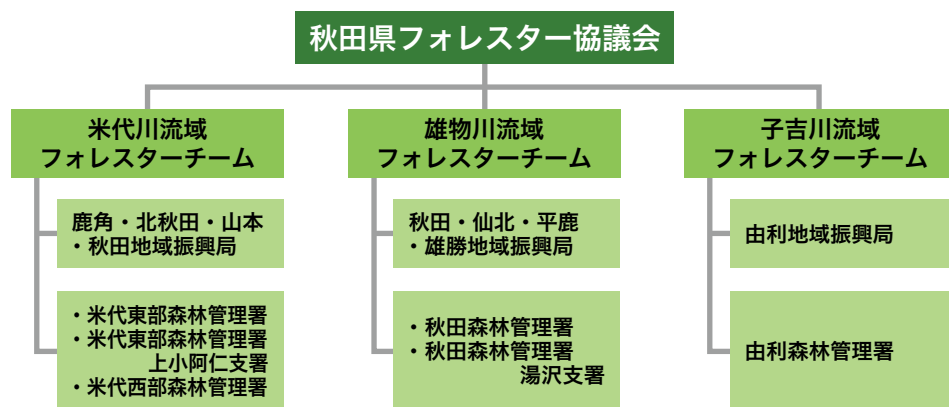


図1 秋田県フォレスター協議会組織図

管内概要

秋田森林管理署は、秋田県中央部に位置する雄物川流域北部3市1町の国有林（約11万2千ha）を管理しています。

雄物川流域の国有林は、秋田スギの一大産地となっているほか、上流部にはブナを主とする広葉樹林が自然のままの姿で数多く残されており、原生的な自然環境を維持するため森林生態系保護地域等に設定されているなど、自然環境豊かな地域です。

さらに、十和田八幡平国立公園、抱返り溪谷、太平山県立自然公園といった優れた景観に恵まれた森林が多く、玉川温泉や乳頭温泉郷といった観光資源も豊富で多くの人々が訪れています。



秋田森林管理署管内図

署の基礎データ

所在地	秋田県秋田市河辺和田字和田 156-3
区域面積	303,434ha
うち森林面積	211,557ha
国有林	111,538ha（国有林率 52.7%）
管轄区の関係市町村	3市1町 秋田市、大仙市、仙北市、美郷町

1 市町村森林整備計画の策定支援

当署管内の雄物川流域については、平成26年度が市町村森林整備計画の策定年度であったことから、平成26年2月に雄物川流域フォレストスターチームが市町村の林務担当者を対象に市町村森林整備計画の作成に向けた研修会を実施するとともに、雄物川流域の森林・林業・木材産業関係者を対象に、市町村森林整備計画の内容について改善すべき事項の提案、現状及び課題を把握するためのアンケート等を実施しました。

さらに、市町村森林整備計画の作成に関する先進事例の紹介を交えた意見交換を実施し、森林施業プランナーの協力を得て、各市町村の計画の策定推進体制の整備を行い、まずは市町村森林整備計画の概要版を作成しました。

その上で、各市町村の地域性を打ち出すための検討を重ねその議論等を踏まえ、更に地域の意見を取り込み、全市町村で基本方針等に地域性を打ち出した地域密着型の市町村森林整備計画の策定支援を行いました。

2 市町村森林整備計画の実行監理支援

市町村森林整備計画策定後の実行監理支援については、実施年度ごとに重点支援事項を①計画内容の確認、②実行監理の推進、③計画実行状況評価、④次期計画作成準備として定め、市町

村の林務担当者を対象に研修会等を開催しスキルアップに繋がる取組を行っています。

研修会は、伐採及び伐採後の造林計画に係る現地調査（伐採届出制度）、広葉樹の樹種判定、天然更新完了現地調査、森林経営計画の作成・認定（現地路網等確認）などの内容で年2回程度開催するほか、フォレストスターチームが直接各市町村へ伺い、森林整備計画の一斉変更内容について説明等を行っています。【写真1〜3】

今後、秋田県フォレストスター協議会及び雄物川流域フォレストスターチームの活動に積極的に参加し、地域課題の解決、林業の成長産業化に向けて取り組んでまいります。



1 森林経営計画等研修



2 天然更新完了調査研修



3 森林作業道等現地研修



4 採材・造材等研修

秋田県林業 トップランナー養成研修 （秋田林業大学校）への 支援・協力



当署では、平成26年9月に秋田県と東北森林管理局が締結した「秋田を元気にする緑の覚書」に基づき、平成27年度から秋田県が開講した秋田林業大学校に対して、フィールド提供や講師として森林総合監理士等の派遣を積極的にに行い、林業技術者の育成支援に協力しています。

現地実習では、生産事業請負現場を主体に、高性能林業機械による間伐作業現場の体験、採材とチェーンソーによる造材の実践、スギ複層林地の見学などを実施しました。また、他署等では、海岸林の施業や天然林の施業につ

いて、研修を行っています。【写真4】講義等については、①森林・林業・木材産業の現状と課題、②国有林の管理経営について（森林管理署等の仕事）、③座談会形式で研修生との意見交換を行いました。研修生から、民有林と国有林の仕事の相違点、日本の林業の未来、林業の仕事のやりがいなど、活発な質問があり、林業・木材産業にこれから従事する若者の意気込みが強く感じられたところです。

林業従事者の高齢化が進む中で、若い人材を育成することは急務であり、その若者が地域の林業を牽引するリーダーへと成長していくためには、オール秋田・オールジャパンで支援していくことが重要と考えていることから、今後ともこれらの取組への支援・協力を継続してまいります。